

市道の冬期間通行止めなどのお知らせ

通行止め路線 詳細 道路維持課 ☎32-6491

路線名	区間	期間
市道 樽前山観光道線	全線	11月25日(金)～平成24年5月31日(木)
市道モラップ1号線	全線	12月1日(木)～平成24年5月31日(木) 平成24年1月27日(金)から2月12日(日)までは通行可能
植苗北1号道線	福井宅前から桂ゴルフ倶楽部まで	12月1日(木)～平成24年5月1日(火) 大型車両は通年通行止め

降雪により通行止めが早まる場合があります

除雪をしない路線

路線名	区間
小糸魚道線 (宮の森町先)	宮の森町2丁目北の市営バス回轉場以北(終点まで)
小糸魚川道線 (はまなす町先)	字糸井381番地ペット霊園以北(終点まで)
豊川系井10号線 (清掃センター先)	道央自動車道以北(終点まで) 通年通行止め
有珠の沢道線	道央自動車道以北(終点まで)
夕振沢1号道線 (STV送信所先)	終点まで
新夕振沢2号道線 (ニドムゴルフ場先)	終点まで
植苗北1号道線	美沢1号線のT字路から突き当たりまで

電気使用量削減！省エネコンテスト

地球温暖化対策の関心を高めるため電気使用量のモニターを募集し、「オール電化住宅部門」と「一般住宅部門」に分けてコンテストを開催します

- 最優秀賞 1万円相当のエコ商品(各部門1名)
- 優秀賞 5千円相当のエコ商品(各部門1名)
- その他
 - 各部門3～5位の方にエコ商品を贈呈
 - 参加者全員に参加賞(エコグッズ)、省エネ診断書を差し上げます

成績判定 昨年同期間と比較した電気使用量の削減率で判定
報告方法 1月、2月請求検針期間の2カ月間の「電気ご使用量のお知らせ」コピーを提出
参加要件 次のいずれの要件も満たしていること
 ●市内に1年以上継続して同一住宅に居住している ●実績を報告できる ●平成22年11月以降にオール電化設備を設置などしていない ●太陽光発電システムを設置していない
参加料 無料
申し込み・詳細 環境保全課にある申込書(ホームページからダウンロード <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> で環境保全課 検索) 電話による取り寄せ可)に記入し、11月4日(金)～30日(水)までに環境保全課(電話による申し込み可) ☎36-8801
 5日(土)、6日(日)開催の「みんなの消費生活展」会場でも受け付けます(e g a o 7階)

第38回 みんなの消費生活展

「地域で広げよう消費者の安全・安心」

日時 11月5日(土) 10時15分～15時、6日(日) 10時～15時
会場 e g a o 7階 詳細 安全安心生活課 ☎32-6306

暮らしに役立つ安全・安心な情報やアイデアを提供します！

会場では19カ所の体験・実演コーナー、PR展示を通し、リサイクルなどの環境問題や食の安全、健康に関することなど、暮らしに役立つさまざまな情報をみなさんに提供します。また、ステージ発表、フリーマーケットのほか消費者相談コーナーもあります。ぜひこの機会にご利用ください。

●ステージ イベントがたくさんあります～

10時15分	オープニングセレモニー (先着100名に記念品進呈)
5日 11時～	寸劇「悪質商法にあわないために」
13時～	楽しく笑ってためになる「ストリートティチャーによるエコ学習」
11時～	東小学校プラスバンド同好会による演奏会
6日 13時～	くらしのクイズ
14時～	今年も開催！「ジャンボよいとまけ重さ当てクイズ」結果発表と試食会

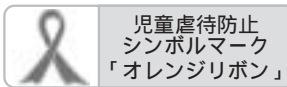
●主な出展内容

- 体験** ●お米の精米体験●自転車シミュレーターによる交通安全体験●新聞紙で絵手紙作り●ふれあいサロン(手芸)●パソコン食育クイズ
- 展示** ●特許制度の紹介●発明品・アイデア品の展示●アイデア絵手紙の展示●防災アンケート結果報告
- 相談** ●不動産取引に関する相談会●悪質商法などに関する消費者相談会●食の安全に関する消費者相談会
- エコ** ●小型家電の無料回収●牛乳パック13枚以上持参でトイレトロールと交換●EM発酵資材を使った生ごみ処理方法の紹介●LED電球の紹介

みなさんの来場をお待ちしています！

11月は児童虐待防止推進月間です 子育てやDVなどで悩んだら相談電話

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは、児童相談所や市役所(子育て支援課)に連絡してください。連絡した方の秘密は法律で守られます。出産や子育て、その他どんなことでも気軽に相談してください。専門の相談員が助言、指導します



妊産婦・育児相談	
▶妊娠中の心配やお子さんのことで分からないことなどについて、保健師による個別相談	
健康支援課	☎32 6411
乳幼児の子育て相談(9時～17時)	
▶赤ちゃんの夜泣き、ことばの遅れなど育児に関する悩み	
やまて保育園子育てルーム(月～金曜日)	☎76 0874
あけの保育園子育てルーム(月～金曜日)	☎57 3576
錦岡保育園子育てルーム(月～金曜日)	☎68 6655
とまこまい子育て支援センター(月～土曜日)	☎33 4751
託児相談	
▶子育ての援助を行いたい人と受けたい人で会員組織を作り、相互の信頼関係をもとに安心して子育てができる環境づくりをサポート	
とまこまい子育てサポートセンター(市民活動センター内)	☎84 7266
▶0歳から小学6年生までの「病児・緊急預かり」に対応	
北海道こども緊急さばねっと(苦小牧エスタ内)	☎32 7855
就学前児童の発達相談	
▶心身に障がいまたは発達に遅れやつまずきのある子どもの相談と訓練指導	
心身障害者福祉センター(おおぞら園)	☎34 5821
就学相談	
▶発達に遅れやつまずきのある子どもの就学にかかわる相談	
教育センター子ども支援室「あかり」	☎32 6745
児童相談	
▶18歳未満の子どものに関するさまざまな問題についての相談	
子育て支援課	☎32 6369
道立女性相談援助センター	☎011 666 9955
ウィメンズ結	☎32 0100
苦小牧警察署	☎35 0110

児童虐待相談・通報先	
▶虐待を受けたと思われる子どもがいたらすぐに通報してください。プライバシーは厳守します	
苦小牧市(子育て支援課)	☎32 6111
室蘭児童相談所	☎0143 44 4152
苦小牧警察署	☎35 0110
家庭教育相談	
▶家庭教育・幼児教育に関する相談	
午前=9時～11時45分 午後=13時～15時30分	
青少年課	月・火・木=午後 ☎32 6759
あさひ児童センター	水・金=午前 ☎35 6393
住吉児童センター	火・木=午前 ☎36 1448
沼ノ端児童センター	月=午前、水=午後 ☎57 6601
西弥生児童館	月=午前、水=午後 ☎73 8812
大成児童センター	火=午前、金=午後 ☎75 1841
日新児童センター	水・金=午前 ☎76 6655
錦岡児童センター	木=午前、金=午後 ☎82 7371
教育相談	
▶いじめ、不登校など学校教育に関する相談	
教育研究所	☎36 4152
いじめなど110番	9時～21時 ☎36 8282
教育委員会指導室	☎32 6744
配偶者などからの暴力相談	
▶夫婦間や恋人などからの暴力についての相談	
子育て支援課	☎32 6369
道立女性相談援助センター	☎011 666 9955
ウィメンズ結	☎32 0100
苦小牧警察署	☎35 0110

平成24年度樽前小学校に入学・転入学する児童を募集

樽前小学校は区域外からの通学が特別に認められる特認校です。「少人数指導、豊かな自然、地域の人々との交流」という教育環境の中で子どもを学ばせてみませんか

募集対象・定員 ●新小学1年生 4人 ●新小学2年生 11～2人 ●新小学3年生 11～2人 ●新小学4年生 5人 ●新小学5年生 5人 ●新小学6年生 5人 ●保護者同伴による児童の面接があります。応募者多数の場合は抽選

条件 ●自宅から学校までの通学時間が1時間程度まで ●特認校の目的や教育内容から、心身に障がいのない児童 ●通年通学ができる児童

登下校 錦西バスターミナルと学校間にスクールバスを運行

学校説明会・授業公開 11月5日(土) 9時30分～12時30分 直接学校へ

学校見学会 11月1日(火)、10日(水) 11時55分～12時40分 直接学校へ

申し込み 11月1日(火)～30日(水)に所定の応募用紙に記入し、樽前小学校まで応募用紙配布・詳細 樽前小学校 学校教育課 ☎(32) 6742

市長コラム

はすかつぶ

苦小牧市長 岩倉博文

「浜の元気を街の元気に！」

10月16日苦小牧漁港ホッキまつりが開催され、一時雨でしたが後には秋晴れとなり、会場の苦小牧漁港一帯は1万2千人の人の出で大変賑わっていました。

このイベントは、一昨年までホッキフェスタとして開催していましたが、今回「苦小牧漁港ホッキまつり」として、漁業、港湾振興、観光、まちづくりなどの関係団体などが連携し水揚げ量日本一の「ホッキ貝」を全国にアピールし、観光客の誘致を進め賑わいとまちの活性化を促進することを目的に新たな開催となりました。

苦小牧は、昭和40年代に国家プロジェクトの推進により工業化が進んだまちとなりましたが、まちの中心部から近くに港市場や漁港があり、近年多くの人が訪れ観光スポットとしても魅力的なまちとなりました。今、市中心部の活性化を図るためさまざまな事業展開を行っており、10月1日には昨年続き2回目の「百縁商店街」が開催され、朝から多くの方が駅前通りを行き来し大いに感動しました。

厳しい経済情勢ですが苦小牧の大きい強みのホッキを前面に押し出し、浜の元気を街の元気に「つなげるよう」、さらに新たな苦小牧の魅力発信していきます。